

## 候補地検討と今後の進め方について

R3.3.29 庁舎の建替えに関する  
特別委員会

- ・耐震性の不足は喫緊の課題。**早期整備**を。
- ・**行政サイドとしての考えを整理**し、示すべき。
- ・事務局として、どこがいいのか考える必要がある。
- ・場所をまず決めれば、その後、案の深掘りができる。

R3.4.9 庁舎整備に関する  
推進本部会議

- ・**早期実現が一番大切**。まず方向性を決めてから、課題をどう克服していくか検討していけばよい。
- ・議会や審議会で1本にまとめるのは難しい。早期実現のため、**この会議で方向性をまとめて**、市長に報告してはどうか。

## R3.4.19 特別職による意見交換

- ・耐震性の不足は喫緊の課題である。H20の耐震診断から相当の時間が経過。早期整備が重要。
- ・しかし、将来の行政サービスの変化は必然であり、規模を固定化することはできない。
- ・将来的な変化に対応できる柔軟性が必要。一旦新築で整備すると固定化する。
- ・財政的にも、将来の先行きは不透明。できるだけコストを削減すべき。
- ・未来をデザインするまちづくりと合わせて検討していきたいところであるが、最善、最速、最短での整備を現実的には考えるべき。
- ・最速かつ低廉で整備できることが、市民理解を得やすい。
- ・審議会からの答申については、積極的に取り入れるべき。

## 《まとめ》

- ・審議会の意見を尊重し、かつ現時点で大きな箱モノは整備せず、将来の選択肢を残して柔軟に対応できるような整備とする。
- ・早期整備、低コスト、柔軟性を重視。

現在地での耐震補強プラス増築

R3.5.18  
推進本部会議

市長報告

特別委員会

基本構想(案)  
策定